

令和7年9月1日

市政記者クラブ 様

防災危機管理局
危機対策課
担当：肥沼・福岡
電話：972-3522

令和7年度なごや市民総ぐるみ防災訓練の実施について

市民、防災関係機関、事業者及び本市が協力・連携して地震災害を想定した総合的かつ実践的な訓練を実施することにより、災害時の応急対策に関する具体的な運用等を検証し、訓練参加機関等の地震災害時における相互協力体制を確立するとともに、市民の防災意識の高揚を図ることを目的として、下記のとおり訓練を実施しますのでお知らせします。

記

1 訓練項目及び訓練実施日

訓練項目	実施日
各区総合防災訓練	令和7年9月7日（日）
各局室訓練	市災害本部運営訓練実施日前の 各訓練計画で定める日
市災害対策本部運営訓練	令和7年11月6日（水）

2 訓練内容等

(1) 各区総合防災訓練（訓練の詳細については別紙1、2のとおり）

あらゆる広報手段を使用して緊急地震速報や避難情報を発信する全市一斉情報伝達訓練や、一斉安否確認・避難訓練、住民参加型訓練を実施します。住民参加型訓練では、救出・救護訓練や指定避難所運営訓練など地震災害時の応急対策訓練を行うとともに、防災に関する知識の向上や普及啓発を目的とした参加・体験型の訓練を行います。

今年度の防災訓練重点区である南区及び守山区においては、関係機関などと連携した総合的な訓練を実施する予定です。

※市長は南区と守山区（防災訓練重点区）に巡視予定です。

(2) 各局室訓練

各局室の災害応急対策上の任務に応じた訓練を行います。

(3) 市災害対策本部運営訓練（詳細は、別途情報提供いたします）

南海トラフ地震対応における本市としての情報処理、意思決定及び連絡調整に係る訓練を行います。

9月7日（日）各区総合防災訓練

～訓練の流れ～

全市一斉情報伝達訓練

名古屋市公式 LINE や Yahoo!防災速報、同報無線、防災ラジオ、市公式ウェブサイト、SNS、名古屋市防災アプリ等により、

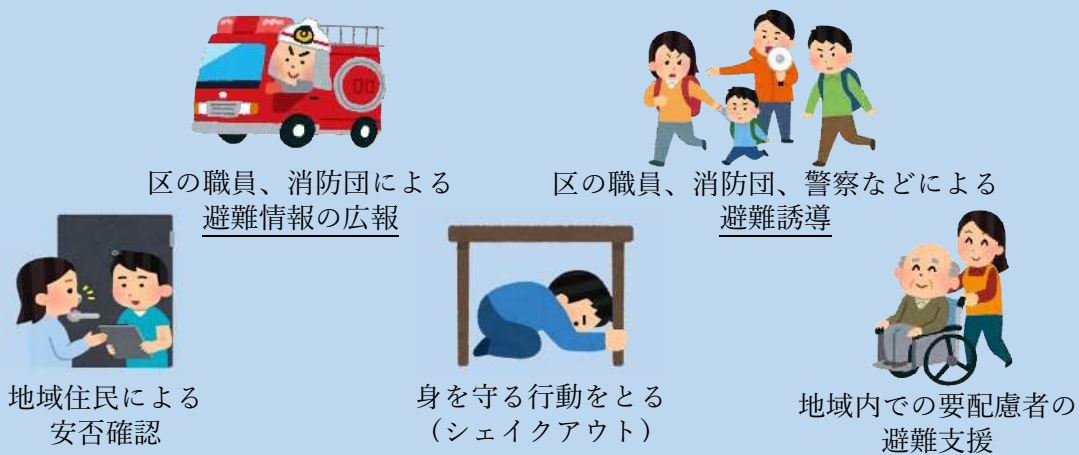
- ・午前8時30分：緊急地震速報
- ・午前8時33分頃：避難指示「大津波警報」 を伝達

※同報無線について、緊急地震速報は市内全域で放送し、避難指示（大津波警報）は津波浸水想定区域を含む地域でのみ放送

避難行動の開始

一斉安否確認・避難訓練

安全で確実な避難のために各種災害対応を一体的に実施



住民参加型訓練

各区の訓練会場において避難所運営等に関する様々な体験型・実践型の訓練を実施

※訓練に参加できない方も※

南海トラフ地震に備え、「名古屋市防災アプリ」や令和5年3月に全戸配布した「なごやハザードマップ・防災ガイドブック」及び市民一人ひとりの避難行動計画を作成するための「わが家のマイ・タイムライン」を活用し、災害への備えを確認してください。

＜各区総合防災訓練概要＞

区	訓練場所	特徴等
千種	大和小学校	・ 8 時 3 0 分のサイレンを巨大地震発生と想定し、地区本部や現地本部を各町内会・自治会単位で立ち上げる ・ 一斉安否確認・避難訓練として参加者全員が会場となる小学校(大和小学校)に移動 ・ ブース訓練(AED取扱方法・三角巾使用方法・災害用伝言ダイヤル「171」等)や消防署・団による放水訓練を実施
東	東桜小学校	・ 特設公衆電話設置訓練や防災倉庫の説明、発電機操作訓練等により避難所の設備等を把握してもらう ・ 防災ボランティアネットワークの指導のもと、東区自立支援連絡協議会防災部会の参加により福祉避難スペースを開設 ・ 要配慮者の福祉避難スペースへの誘導及び協定福祉避難所への移送訓練を実施
北	大曽根中学校	・ 障害者が参加する避難所体験訓練や障害者本人が講師となった要配慮者避難援助訓練を実施 ・ 医療救護所設置訓練として、設営資材の確認及び模擬診察等を医師会中心に、薬剤搬入訓練を薬剤師会中心に実施 ・ 指定避難所運営訓練では、実際に班ごとに分かれ、各班の役割について訓練を実施
西	天神山中学校	・ 避難行動訓練、緊急物資配分訓練、車両広報訓練など多岐にわたる訓練を実施 ・ 災害ボランティアセンターや医療救護所に関する講話、災害時要配慮者への理解を深める講話等を実施
中村	中村区役所等複合庁舎	・ 16区で唯一区役所庁舎が指定緊急避難場所・指定避難所として指定され、初めての防災訓練となるため、避難する時のイメージを地域住民、職員がともに共有できるように訓練を実施
中	老松小学校	・ 中学生以下を対象に防災に関するクイズラリーを実施し、楽しみながら子ども達の防災意識の向上を図る ・ 展示形式、体験形式、見学形式など様々な形式で訓練を実施
昭和	桜山中学校	・ 障害者の方に来ていただき、障害者目線での災害時に困ること等の講話を実施 ・ 能登半島地震での状況を踏まえて、トイレの運用についての紹介、講義を実施 ・ 大規模な震災への備えとして、シェイクアウト訓練や放水訓練を実施
瑞穂	御劔小学校	・ 煙（無害）の中を実際に避難する煙道避難体験、消防団の資器材やスタンドパイプの展示・説明を実施 ・ 瑞穂区障害者関係団体による要配慮者支援講習を実施 ・ 複数学区において安否確認訓練を実施し、一部学区は小学校等のデジタル移動無線等で本部へ安否確認状況等を報告
熱田	宮中学校	・ 発災直後の災害救助地区本部の役割について、自主防災組織や避難所運営組織との関係を含め総合防災訓練実施学区の災害救助地区本部委員及び他学区の本部長・副本部長などに向けた訓練を実施 ・ 各種防災関係機関ほか各種団体のブースを「自助」「共助」「公助」という3つのカテゴリに分けて設置
中川	万場小学校	・ 各町内会長を中心に避難者名簿を用いて避難者受付訓練を実施 ・ 自助や共助につながる行動・知識を体験・習得することができる住民参加型訓練を中心に構成 ・ 名古屋市消防音楽隊が来場し、防災に関する啓発及び住民の防災意識の高揚を図ることを目的に演奏・演技を実施
港	港南中学校	・ 朝のサイレン吹鳴とともに港区全体で「無事ですカード」を掲げた後、非常持出品を持って津波避難ビルへ避難する「港区民一斉津波避難訓練」を実施 ・ 港南中学全生徒を対象に、屋上への垂直避難訓練やマイ・タイムラインの作成、避難所運営の講話等を実施 ・ 港区障害者基幹相談支援センターの協力のもと、住民と障害者の意見交換を行い、災害時の要配慮者対応を学ぶ ・ 稲永学区が津波避難ビルに独自で配備したパイプトイレの展示や、簡易バック式トイレの使用訓練等を実施
南 (重点区)	名南中学校	・ 一般社団法人愛知県トラック協会・陸上自衛隊第35普通科連隊と連携し、区役所から避難所への物資輸送訓練を実施 ・ 消防ヘリコプターによる、上空からの広報活動を実施 ・ 体育館にて各関係機関によるブースを設置するほか、屋外スペースにおいてはVR起震車による地震体験コーナーや煙道体験コーナー、災害車両の展示など実施
守山 (重点区)	大森北小学校	・ 関係機関がブース形式で体験形式や展示形式の住民参加型訓練を実施 ・ 消防署・土木事務所・警察署・陸上自衛隊が連携した道路啓開・救出救護・放水訓練を実施
緑	南陵小学校	・ 避難所運営訓練では、参加住民を町内会ごとに班分けして、関連する内容の訓練を実施 ・ 桶狭間荘にお住まいの参加住民が、消防署職員による指導の下、集合住宅にあるパーティションを想定したけ破り訓練を実施
名東	牧の池中学校	・ 住民が自主防災会ごとに現地本部に集まり、現地本部の場所や自主防災会の役割などを確認する避難訓練を実施 ・ 災害ボランティアセンターの紹介、災害時の電気・通信、要支援者搬送訓練、要配慮者対応など各班に分かれて実施 ・ シェイクアウト訓練の実施や、合同震災対応訓練としてグラウンドで被害状況収集、道路啓開、放水訓練を実施
天白	野並小学校	・ 天白区地域女性団体連絡協議会や天白区障害者自立支援連絡協議会などの関係団体と連携し訓練を実施 ・ 協定を締結している株式会社プロドローンと連携し、情報収集訓練を実施 ・ 野並小学校児童向け防災教室を実施し、煙道体験や段ボールベッドなど体験を多く取り入れたプログラムを実施